

推薦者



アーク  
原美術館 ARC 館長  
あおの かずこ  
青野 和子さん

双方に良い影響を

訪れるお客さまに美術館や周囲の環境を楽しんでもらいながら、次の世代にも優れた作品を残し伝えていくための美術館運営を行っています。今回、AIRアートプロジェクトの運営委員として、県とアーティストの双方に良い影響をもたらす人は誰かと考えたとき、思い浮かんだのが江上さんでした。5年ほど前、中国の美術関係者が来館した際、彼女が通訳者だったことがきっかけとなり、交流を深めるようになりました。北京のアトリエにお邪魔したこともあるんですよ。国際経験豊富な彼女がこのプロジェクトに

参加し、群馬の豊かな自然の中で作品制作をすることで、他の作家や地元の人たちとお互いに刺激し合えたら良いと考えたのです。

また彼女自身がコロナ禍で作品を発表する場や、今後の活動について再考を余儀なくされる中で、日常を離れ、自分の内面をじっくりと見つめる機会になればとも思いました。誤視・誤聴といった「ミスコミュニケーション」を題材とする彼女の作品は、私たちにとっても、ウィズコロナ時代のコミュニケーションについて考えるきっかけになることでしょう。江上さんならではの緻密な調査力と表現力が存分に発揮され、彼女自身、そして今後のAIRアートプロジェクトの発展につながることを期待しています。



原美術館 ARC  
©ジャン=ミシェル オトニエル [Kokoro]  
2009年 撮影：木暮伸也

群馬県を作品に

海外で活動する中でもう一度日本に戻ってさまざまな場所で制作活動をしてみたいと思い、自然がとても美しく、まだ滞在制作をしたことがない群馬県を選びました。

ドイツや北京に留学をした際、言語の壁を感じ、コミュニケーションの本質や認識について考えるようになりました。言語によっては全く違う意味に変換されてしまうことを誤解だけにとどめず、それを新しい創造性の源として表現することに美しさを感じ「ミスコミュニケーション」を題材にした作品を制作しようと思いました。今回の滞在では、県民性や歴史、伝統など、現地を訪ねて感じたものを作品にしていきたいと思います。

ドイツでアートセラピー<sup>※</sup>を経験した時に、アートは人をリラックスさせ、時に生きる希望や感動をもたらすものであると深く実感しました。群馬県には、多くの美術館があり、アートに触れられる場所が身近にあるので、たくさんの人に楽しんでほしいです。そして、アートを通じて思ったことを共有し合い、さまざまな見方があるということを感じてほしいです。

※アートセラピー…アート鑑賞などを通して心を癒やす治療法

アーティスト



AIRアートプロジェクト  
参加アーティスト  
江上 越さん



GINZA SIX「星の時間」江上越個展

子どもたちにアート教育を！

エデュケーションプログラム in 中之条

アートを通じて自分たちの町を知ってほしい



今年7月、中之条町の児童とその保護者と一緒に「感謝の絵手紙」について対話する佐藤さん

私は令和2年に高崎市に移住し、時代の影響を受けやすい子どもの姿や表情をモチーフに描くことで、現代の姿を表現した絵画を制作しています。

エデュケーションプログラムでは、子どもたちと、戦時中に中之条町へ疎開した東京都北区の児童が残した「感謝の絵手紙」を鑑賞しました。鑑賞の際には「作品から他者の見方や考えを読み取る」というアートの視点で子どもたちと対話しました。

子どもたちは、自分たちや他の地域を知る機会が少ないため、中之条町の過去を読み解き、現在の町について一緒に考えました。子どもたちが、アート鑑賞を通じて中之条町ならではの地域性や特徴を知るきっかけを作ることができたと思います。

対話を通じて得た子どもたちの着想を基に、中之条町で滞在制作を行います。完成した作品は、プログラム参加者と一緒に鑑賞する予定です。アートを難しく考える人が多いようですが、制作・鑑賞など、さまざまな角度から気軽に楽しんでほしいですね。



AIRアートプロジェクト  
参加アーティスト  
佐藤 令奈さん



アートを身近に感じてみませんか

県立美術館では、子どもから大人まで楽しめるさまざまな企画展を実施しています。

近代美術館

館林美術館

本県ゆかりの作家たちの作品や日本・海外の近代美術、「織物の地・群馬」にふさわしい染織作品などを展示しています。収蔵作品は4年3月現在で2,000点以上あります。

「自然と人間」をテーマとして、調和、共生、対峙など自然と人間のさまざまな関わりを表現した国内外の作品を収集・展示しています。収蔵作品は4年3月現在で約1,300点あります。

◎理想の書物 -英国19世紀挿絵本からプライベート・プレスの世界へ-

大量の書物が出版される中、読みやすく美しい理想の書物を求めた19世紀イギリスの運動を、当時の挿絵本やプライベート・プレス(私家版印刷所)の出版物から読み解いていきます。



ジェフリー・チャーサー著、エドワード・パーン=ジョーンズ画  
「ジェフリー・チャーサー著作集」  
1896年、株式会社モリサワ蔵

- 期間 11月13日(日)まで
- 場所 高崎市綿貫町992-1群馬の森公園内
- 観覧料 大人900円、高校生・大学生450円
- 問い合わせ ☎027-346-5560

◎かこさとしの世界展 だるまちゃんもからすのパンやさんも大集合！

「だるまちゃん」「からすのパンやさん」といった、かこさとしの代表作をはじめ、少年時代に描いたスケッチ、これまで発表されることのなかった絵本の原画や下絵など貴重な作品や資料をご紹介します。



「だるまちゃんたちとからすのかぞく」  
©Kako Research Institute Ltd.2019

- 期間 10月8日(土)~12月25日(日)
- 場所 館林市日向町2003
- 観覧料 大人830円、高校生・大学生410円
- 問い合わせ ☎0276-72-8188